

中施策評価書

作成日 令和元年 6月 5日

中施策事業名	議会広報広聴事務	部課名	議会事務局・議事課
		作成者	近藤恒明

①めざすまちの姿	26 市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んでいることが市民に分かりやすい
②大施策	市民にとって必要な情報や行政の取り組みを市民に分かりやすく提供する
③中施策	市民にとって必要な情報を分かりやすく提供する
④中施策事業の対象	市内在住、在勤、在学者及び市議会議員
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民に議会の活動内容が伝わっている また、議会にも市民の声が伝わっていて、考える機会となっている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・本会議及び委員会の傍聴に関すること ・議会だよりの原稿及び編集委員会に関する こと ・議会だよりの校正及び配布に関すること ・ホームページに関すること ・議 会放映に関すること

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況								
本会議、委員会の 傍聴者数		事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
		目標値	440	440	440	440	440	440
		実績値	184	130				
単位	人							
		事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
		目標値	0	0	0	0	0	0
		実績値	0	0				
単位								

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 総事業費(a+b)			12,906千円	14,218千円	
人 件 費	a 事業費合計		7,061千円	8,797千円	9,801千円
	正規職員	人数	1人	1人	
		b 金額	5,845千円	5,421千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		5,845千円	5,421千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			12,906千円	14,218千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			188円	207円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	議場等へ来場し傍聴する人数は減少したものの、インターネットを利用した傍聴や情報提供に関する設備の整備により住民への情報提供は、充分補完している。 予算は通年議会という性質上、余裕が必要であり、適切と考える。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	会議録作成支援システムの導入したばかりなので、システムの機能をフル活用していきたい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	現在、紙と手作業で情報共有している事務作業を効率化、迅速化、正確性などを踏まえ、業務改善を進める。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況	昨年度導入した会議録作成支援システムの機能を充分活用することで、一層の会議等の時間短縮と職員の事務軽減に努めたい。	
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況	庁内他課のシステム利用を図る上で、利用マニュアルやルール整備を検討したい。	

中施策評価書

作成日 令和元年 6月 4日

中施策事業名	行政視察・政務活動事業	部課名	議会事務局・議事課
		作成者	近藤恒明

①めざすまちの姿	40 市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている
②大施策	まちを良くしていくために情報を収集し、失敗を恐れずチャレンジする
③中施策	常に情報を収集し、学ぶ環境をつくる
④中施策事業の対象	市議会議員
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	議員が本市政策についての提案に資するため、先進事例を調査研究し、一般質問をしている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・政務活動費に関すること ・行政視察の受け入れに関すること ・行政視察及び合同研修会に関すること

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
議員からの施策や 条例提案件数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	10	10	10	10	10	10
	実績値	8	13				
単位	件						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		11,003千円	10,578千円		
a	事業費合計	5,158千円	5,157千円	7,518千円	
	正規職員	人数	1人	1人	
		b 金額	5,845千円	5,421千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		5,845千円	5,421千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		11,003千円	10,578千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		160円	154円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	議員の先進地視察に事務局職員も同行・同席し、事例研究や情報収集に努めている。受け入れに際しても、担当課と連携し、情報共有し活発な提案ができたと考える。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	視察、議員提案ともに、様々な支援をすることで目標の達成を目指したい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	特に新議員の施策意識を育てるような支援を検討したい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		